

# 『第203回 営業地区内の景気動向調査』

1. 調査内容	2026年 1～3月期の実績 2026年 4～6月期の予想		
2. 調査対象	当金庫営業地域内の企業	合計	104社
(業種別内訳)	製 造 業 27社	卸 売 業 8社	
	小 売 業 25社	サ ー ビ ス 業 11社	
	建 設 業 21社	不 動 産 業 12社	
3. 調査担当	道南うみ街信用金庫 営業店支援グループ		

## ☆ 目 次 ☆

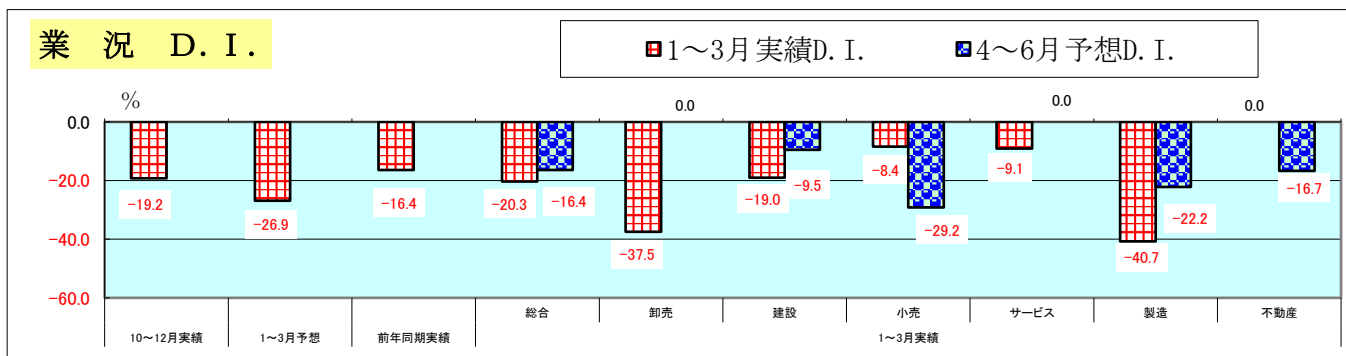
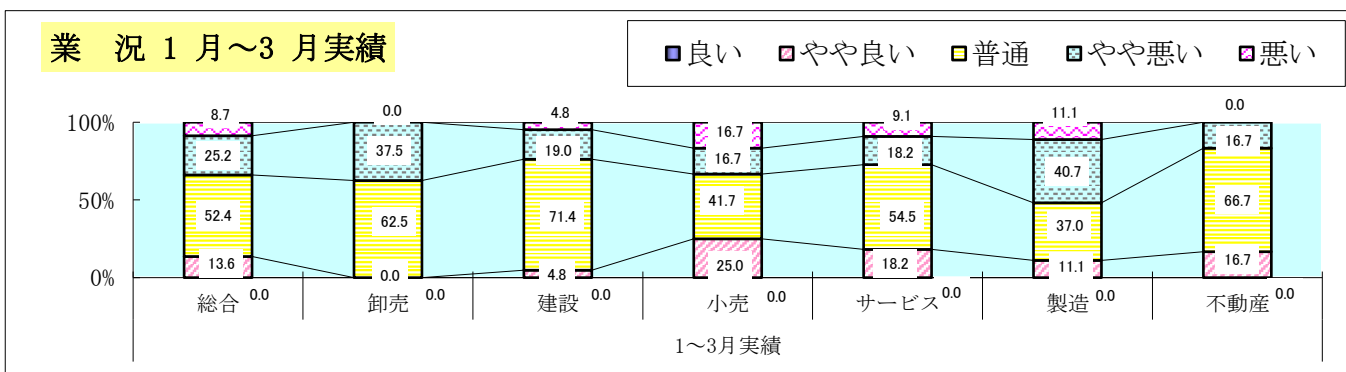
1 概況	P. 1
2(1) 前期に比べた売上額の動き	P. 2
2(2) 前期に比べた受注残高・施工高の動き	P. 3
2(3) 前期に比べた収益の動き	P. 4
2(4) 前期に比べた販売価格（料金価格・請負価格）の動き	P. 5
2(5) 前期に比べた仕入価格（原材料価格）の動き	P. 6
2(6) 前期に比べた在庫の動き	P. 7
2(7) 前期に比べた資金繰りの動き	P. 8
3(1) 前年同期に比べた売上の動き	P. 9
3(2) 前年同期に比べた収益の動き	P. 10
3(3) 前年同期に比べた販売価格の動き	P. 11
4(1) 前期に比べた残業時間の動き	P. 12
4(2) 人手の動き	P. 13
5 借入金の動き及び借入難易度	P. 14
6(1) 設備投資の動き	P. 15
6(2) 設備投資の実施と予定状況	P. 16
経営上の問題点	P. 17
当面の重点経営施策	P. 18
特別調査 …中小企業経営者のライフデザイン	P. 19～P. 20

※ 計数等については、四捨五入しておりますので、一部合計欄と一致しない場合がございます。



# 1. 概 況

概 況		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	1～3月実績D. I.	4～6月予想D. I.
10～12月実績							-19.2	
1～3月予想							-26.9	
前年同期実績							-16.4	
1～3月実績	総合	0.0	13.6	52.4	25.2	8.7	-20.3	-16.4
	卸売	0.0	0.0	62.5	37.5	0.0	-37.5	0.0
	建設	0.0	4.8	71.4	19.0	4.8	-19.0	-9.5
	小売	0.0	25.0	41.7	16.7	16.7	-8.4	-29.2
	サービス	0.0	18.2	54.5	18.2	9.1	-9.1	0.0
	製造	0.0	11.1	37.0	40.7	11.1	-40.7	-22.2
	不動産	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	-16.7



## ○ [当金庫の取引先からみた中小企業の景況]

’26年1～3月期(今期)の業況判断D. I. は△20.3で、前期実績D. I. △19.2と比べ1.1ポイント悪化、前期調査における今期の予想D. I. △26.9に対して6.6ポイント良化、前年同期D. I. △16.4と比べ3.9ポイント悪化しました。

次期予想D. I. については△3.9ポイント良化の予想となりました。

## ○ [全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況] (信金中央金庫 信金中金総研調べ)

’26年1～3月期(今期)の業況判断D. I. は△5.8、前期比3.4ポイント低下と、4四半期ぶりの小幅低下となった。収益面では、前年同期比売上額判断D. I. がプラス4.5、同収益判断D. I. が△3.6と、ともに小幅低下した。

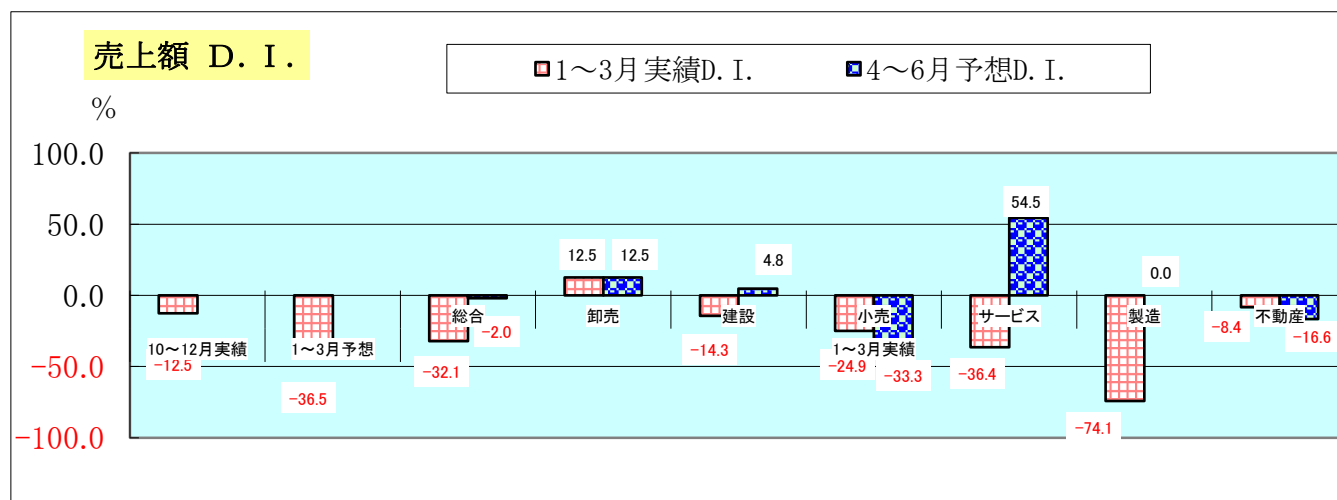
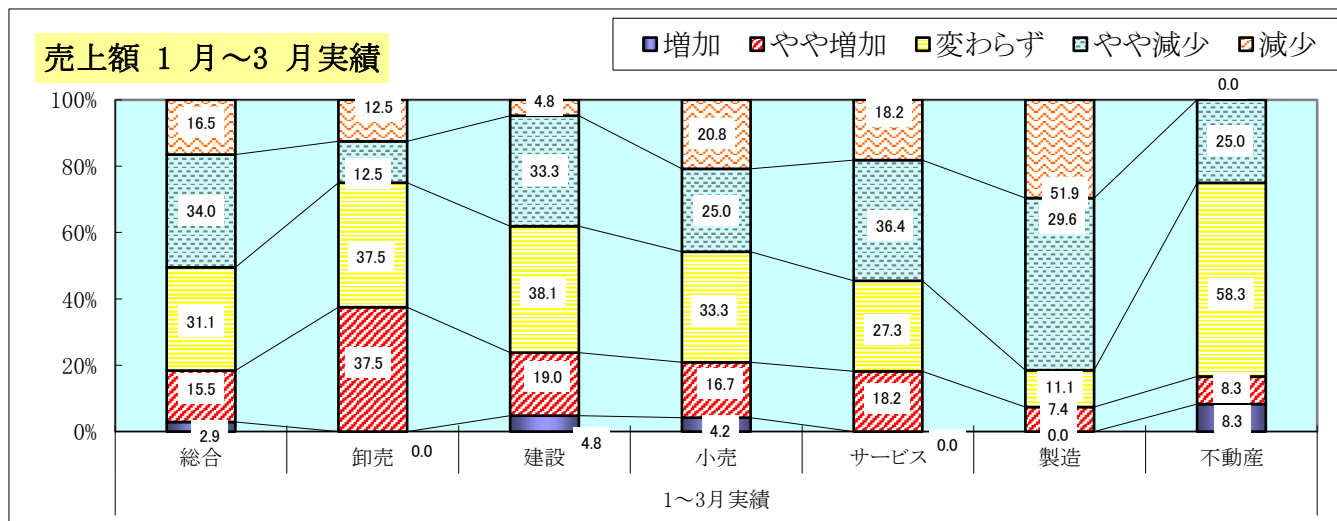
販売価格判断D. I. はプラス24.4と2四半期ぶりに低下した。人手過不足判断D. I. は△25.6と3四半期ぶりに人手不足感が若干緩和した。設備投資実施企業割合は20.8%と2四半期ぶりに上昇した。業種別の業況判断D. I. は、全6業種中、不動産業を除く5業種で、地域別には全11地域中、首都圏と南九州を除く9地域で、それぞれ低下した。

’26年4～6月期(来期)の予想業況判断D. I. は△3.7と、今期実績比2.1ポイントの改善を見込んでいる。業種別には、全6業種中、建設業と不動産業を除く4業種で、また、地域別には、全11地域中、首都圏、四国、南九州を除く8地域で、それぞれ改善の見通しとなっている。

## 2. 前期に比べた動き

### (1) 売上額の動き

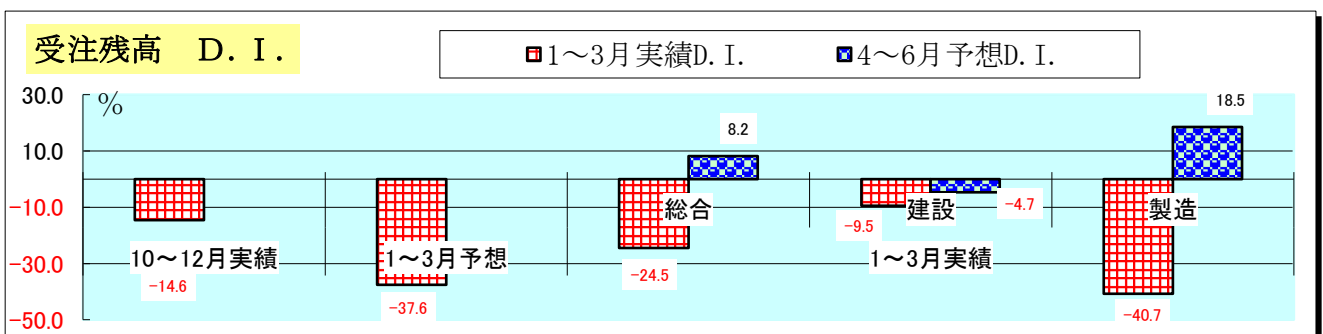
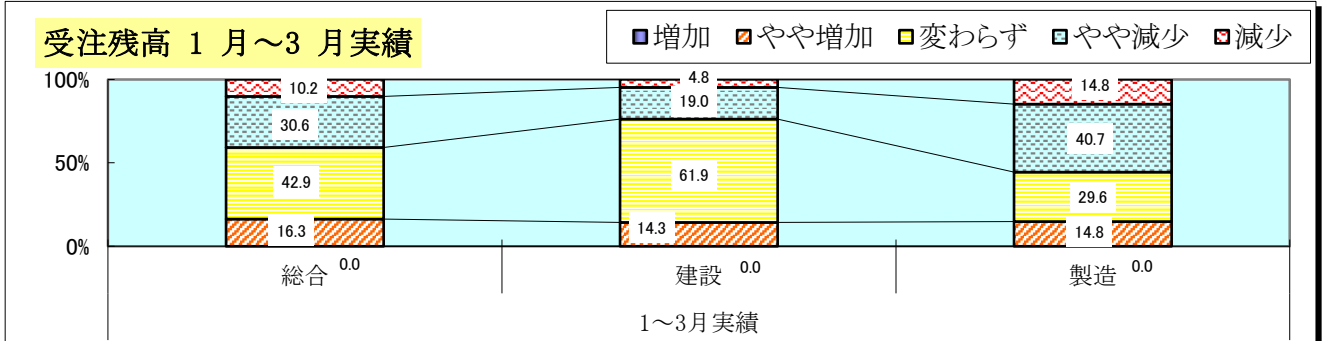
売上額		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-12.5	
1~3月予想							-36.5	
1~3月実績	総合	2.9	15.5	31.1	34.0	16.5	-32.1	-2.0
	卸売	0.0	37.5	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5
	建設	4.8	19.0	38.1	33.3	4.8	-14.3	4.8
	小売	4.2	16.7	33.3	25.0	20.8	-24.9	-33.3
	サービス	0.0	18.2	27.3	36.4	18.2	-36.4	54.5
	製造	0.0	7.4	11.1	51.9	29.6	-74.1	0.0
	不動産	8.3	8.3	58.3	25.0	0.0	-8.4	-16.6



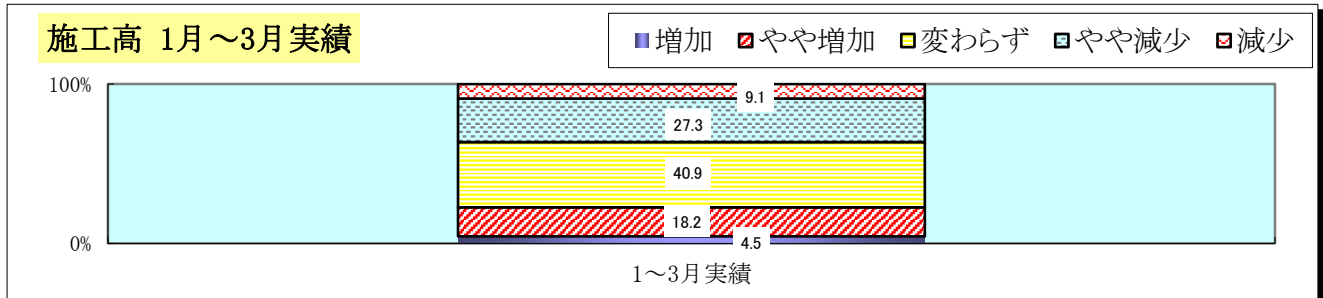
- 前期に比べて売上額が「増加」「やや増加」とした企業18.4%、「やや減少」「減少」とした企業は50.5%で今期D. I. は△32.1となりました。
- 今期の売上額の動きD. I. は、前期実績D. I. △12.5から19.6ポイント減少、前期調査における今期の予想D. I. △36.5に対し4.4ポイントの増加となりました。  
業種別の今期D. I. は、卸売業を除く全ての業種で減少を示している。
- 4~6月予想D. I. は△2.0で、今期実績より30.1ポイントの売上高増加予想となりました。

## (2) 受注残高・施工高の動き

受注残高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-14.6	
1~3月予想							-37.6	
1~3月実績	総合	0.0	16.3	42.9	30.6	10.2	-24.5	8.2
	建設	0.0	14.3	61.9	19.0	4.8	-9.5	-4.7
	製造	0.0	14.8	29.6	40.7	14.8	-40.7	18.5



施工高		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							4.8	
1~3月予想							-28.6	
1~3月実績		4.5	18.2	40.9	27.3	9.1	-13.7	9.1



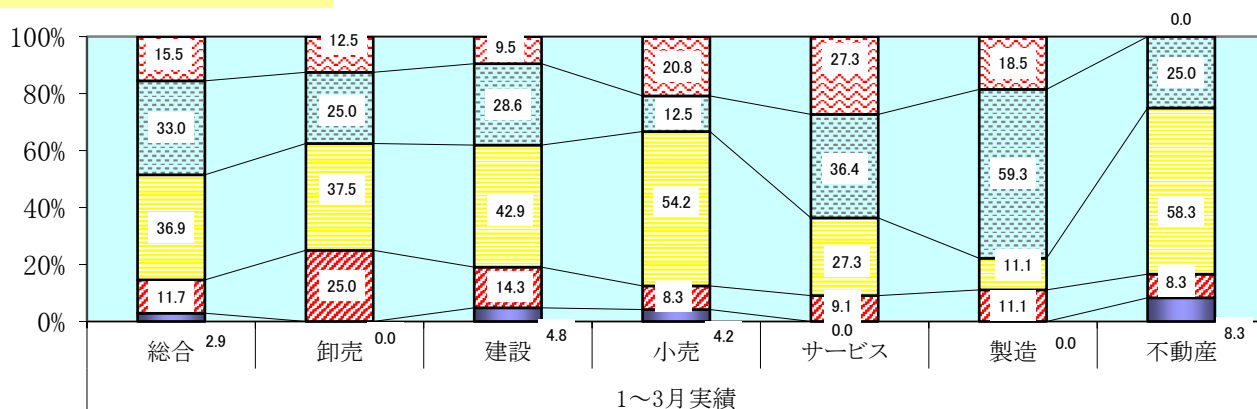
- 今期の受注残高(建設業、製造業のみ)D. I. は $\Delta 24.5$ で、前期実績D. I.  $\Delta 14.6$ に対し9.9ポイントの減少、前期調査における今期予想D. I.  $\Delta 37.6$ に対して、13.1ポイントの増加となりました。また、4~6月の受注残高予想D. I. は8.2で、今期実績対比32.7ポイントの増加予想となりました。
- 今期の施工高(建設業のみ)D. I. は $\Delta 13.7$ となり、前期実績D. I. 4.8に対し18.5ポイント減少し、前期調査における今期予想D. I.  $\Delta 28.6$ に対して14.9ポイント増加しました。また、施工高4~6月予想D. I. は9.1、今期実績対比22.8ポイントの増加予想となりました。

### (3) 収益の動き

収益の動き		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-9.7	
1~3月予想							-34.6	
1~3月実績	総合	2.9	11.7	36.9	33.0	15.5	-33.9	-4.8
	卸売	0.0	25.0	37.5	25.0	12.5	-12.5	0.0
	建設	4.8	14.3	42.9	28.6	9.5	-19.0	9.5
	小売	4.2	8.3	54.2	12.5	20.8	-20.8	-41.6
	サービス	0.0	9.1	27.3	36.4	27.3	-54.6	45.4
	製造	0.0	11.1	11.1	59.3	18.5	-66.7	0.0
	不動産	8.3	8.3	58.3	25.0	0.0	-8.4	-16.6

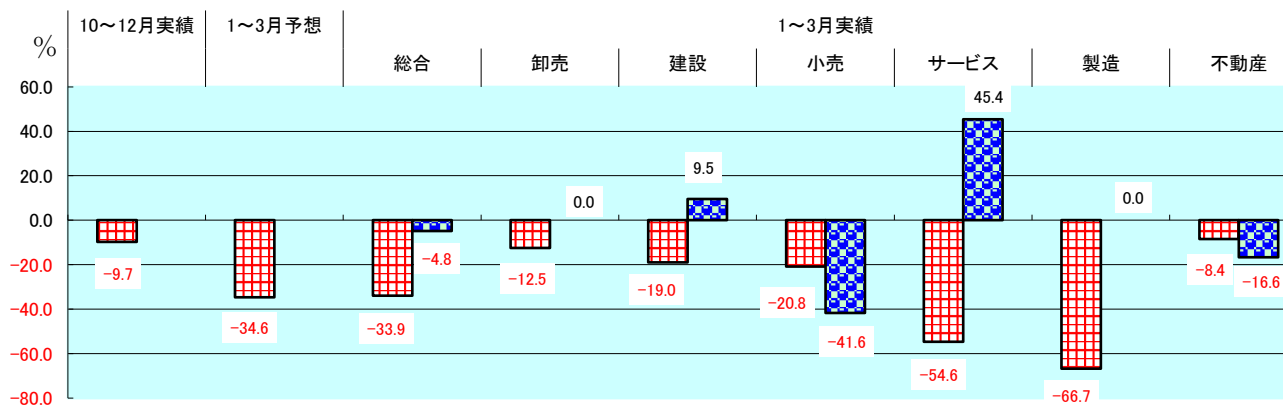
#### 収益 1月~3月実績

■増加 ■やや増加 ■変わらず ■やや減少 ■減少



#### 収益 D. I.

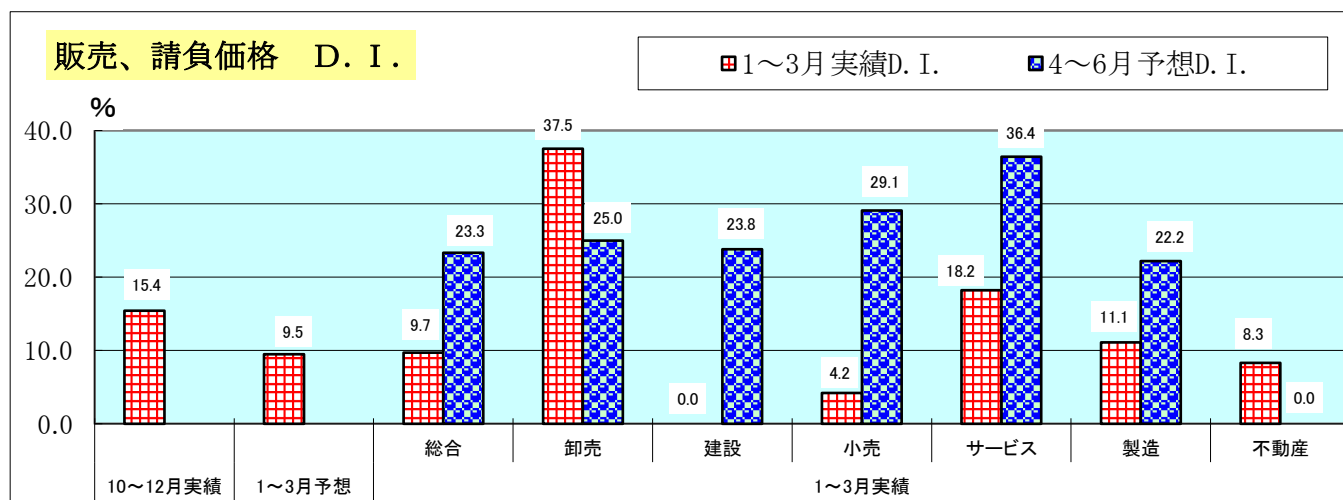
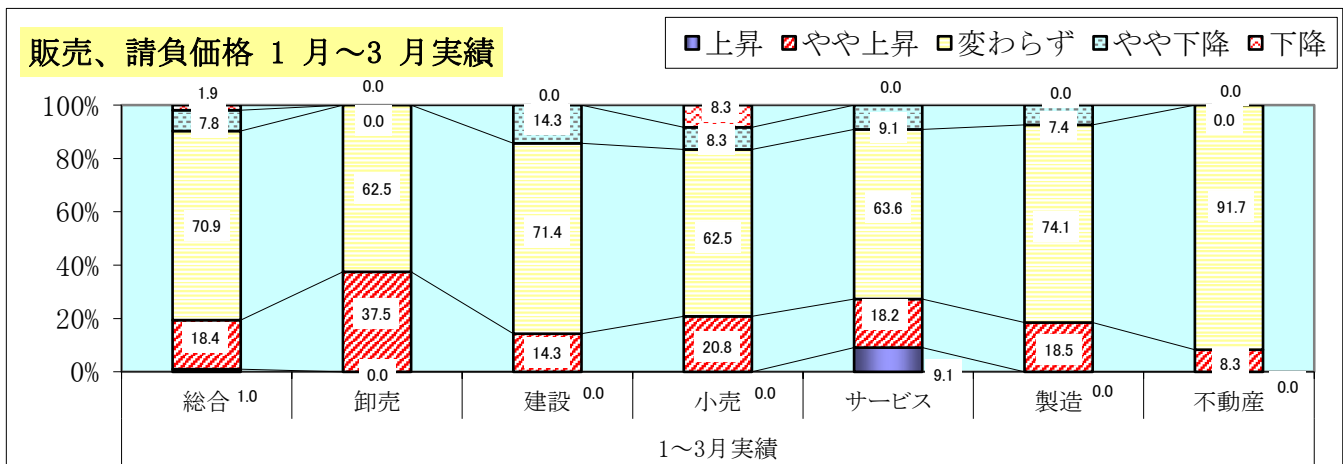
■1~3月実績D. I. ■4~6月予想D. I.



- 前期に比べて収益が「増加」「やや増加」とした企業は14.6%、「やや減少」「減少」とした企業は48.5%で、今期D. I. は△33.9となりました。
- 今期の収益D. I. は、前期実績D. I. △9.7から24.2ポイント減少し、前期調査における、今期予想D. I. △34.6に対しては0.7ポイント増加しました。  
業種別の今期D. I. は、全ての業種で減少を示しています。
- 4~6月予想D. I. は、小売業と不動産業で減少予想を示しています。

#### (4) 販売価格（料金価格・請負価格）の動き

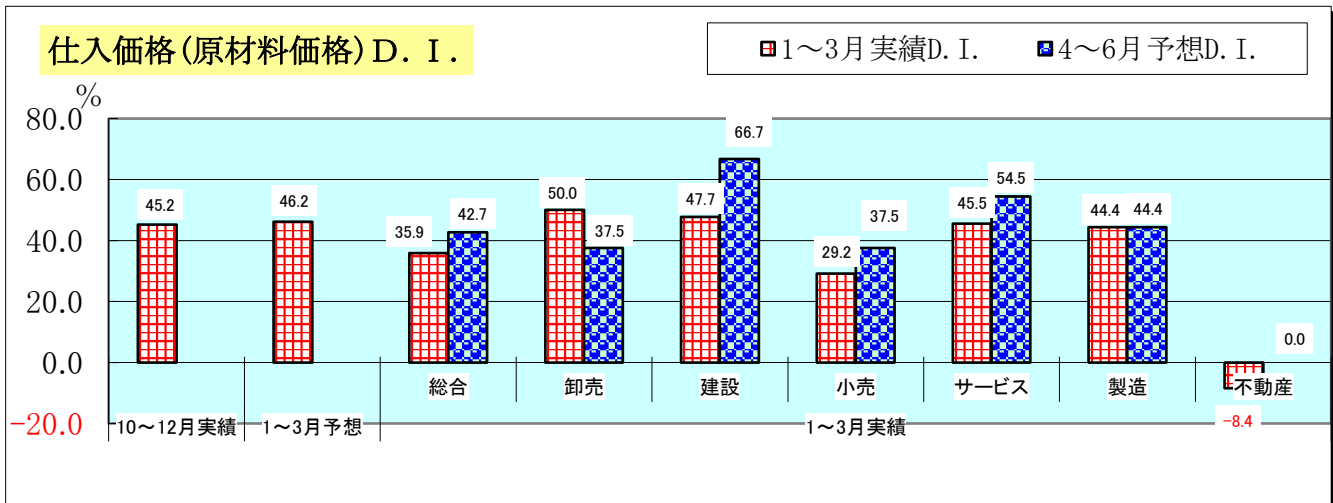
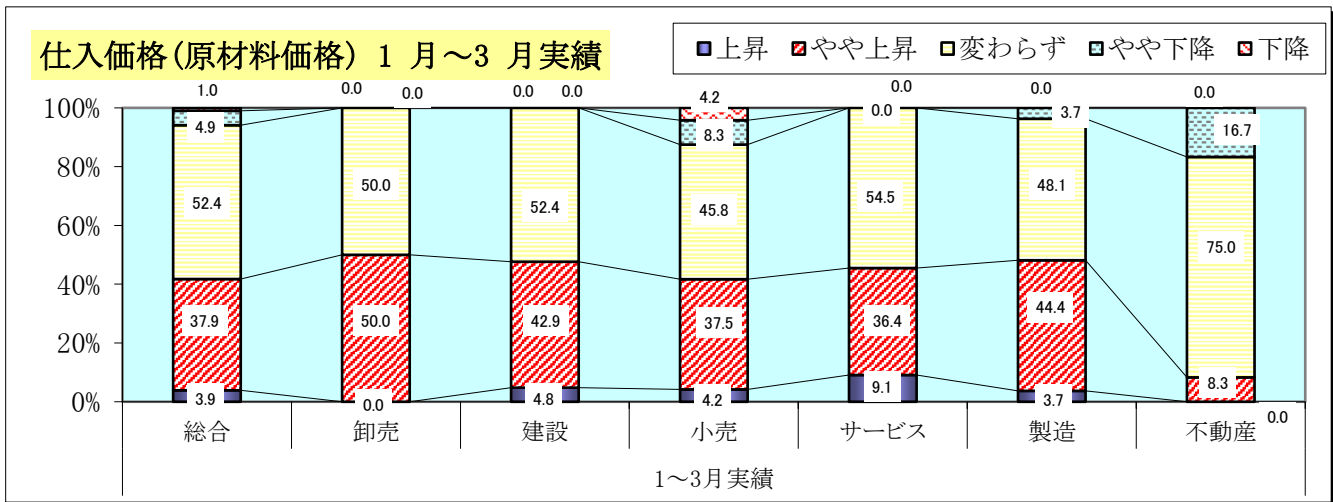
販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							15.4	
1~3月予想							9.5	
1~3月実績	総合	1.0	18.4	70.9	7.8	1.9	9.7	23.3
	卸売	0.0	37.5	62.5	0.0	0.0	37.5	25.0
	建設	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	23.8
	小売	0.0	20.8	62.5	8.3	8.3	4.2	29.1
	サービス	9.1	18.2	63.6	9.1	0.0	18.2	36.4
	製造	0.0	18.5	74.1	7.4	0.0	11.1	22.2
	不動産	0.0	8.3	91.7	0.0	0.0	8.3	0.0



- 前期に比べて販売価格が「上昇」「やや上昇」とした企業19.4%、「やや下降」「下降」とした企業は9.7%で、今期D.I.は9.7となりました。
- 今期の販売価格D.I.は、前期実績D.I.15.4から5.7ポイント下降し、前期調査における今期予想D.I.9.5に対しては0.2ポイントの上昇となりました。  
業種別の今期D.I.は、建設業を除く全ての業種で上昇を示しました。
- 4~6月予想D.I.は23.3で、今期実績より13.6ポイントの上昇予想となりました。

### (5) 仕入価格（原材料価格）の動き

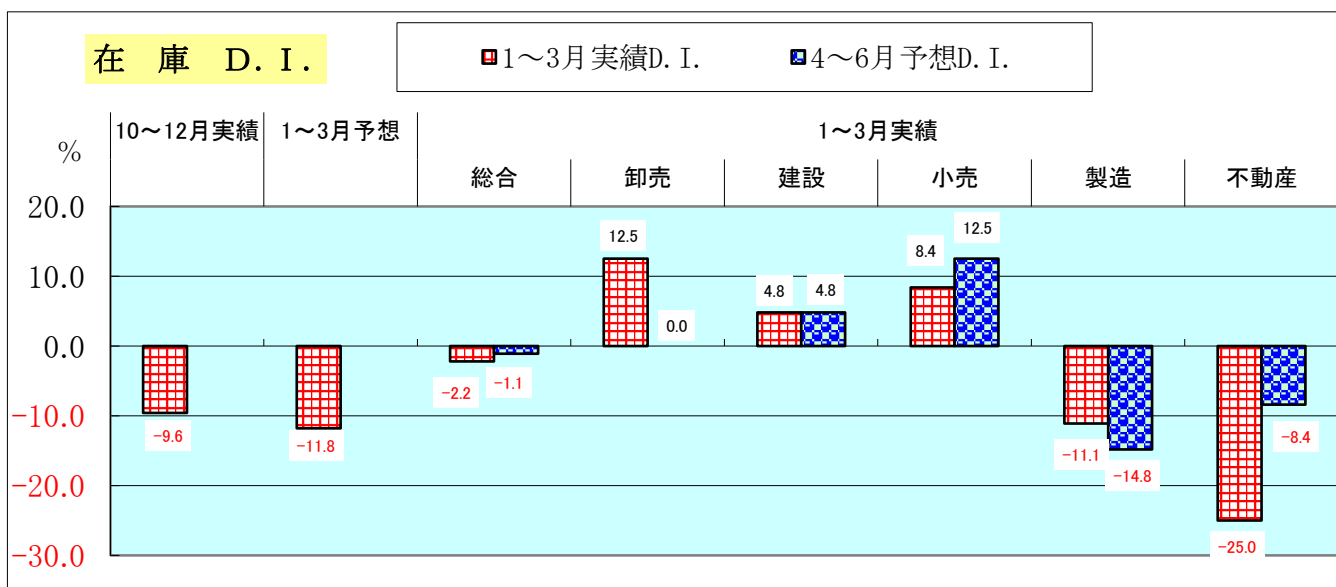
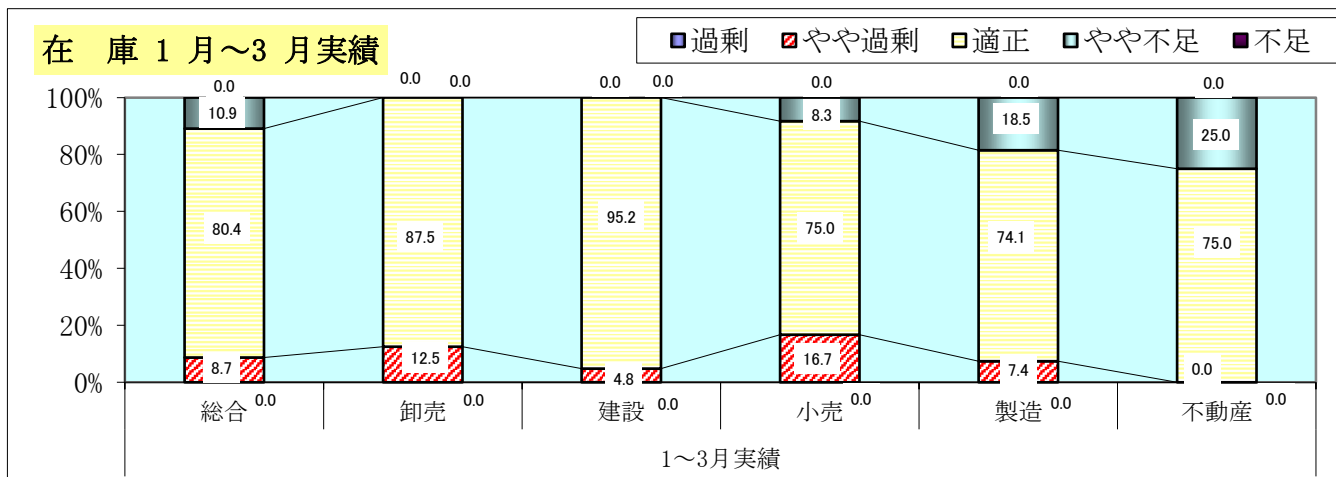
仕入価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1～3月実績D. I.	4～6月予想D. I.
10～12月実績							45.2	
1～3月予想							46.2	
1～3月実績	総合	3.9	37.9	52.4	4.9	1.0	35.9	42.7
	卸売	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	37.5
	建設	4.8	42.9	52.4	0.0	0.0	47.7	66.7
	小売	4.2	37.5	45.8	8.3	4.2	29.2	37.5
	サービス	9.1	36.4	54.5	0.0	0.0	45.5	54.5
	製造	3.7	44.4	48.1	3.7	0.0	44.4	44.4
	不動産	0.0	8.3	75.0	16.7	0.0	-8.4	0.0



- 前期に比べて仕入価格が「上昇」「やや上昇」とした企業は41.8%、「やや下降」「下降」とした企業は5.9%で、今期D. I. は35.9となりました。
- 今期の仕入価格D. I. は、前期実績D. I. 45.2から9.3ポイント下降、前期調査における期予想D. I. 46.2に対し10.3ポイントの下降となりました。  
業種別の今期D. I. は、不動産業を除く全ての業種で高い水準の仕入価格上昇を示しました。
- 4～6月予想D. I. は42.7で、今期実績より6.8ポイントの上昇予想となりました。

## (6) 在庫の動き

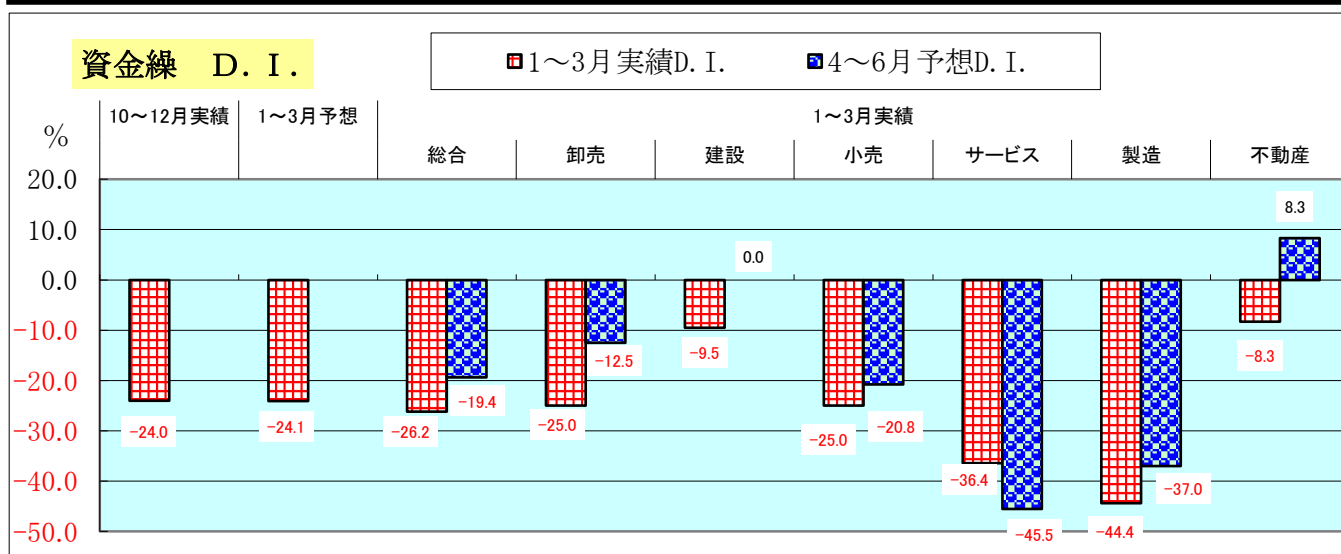
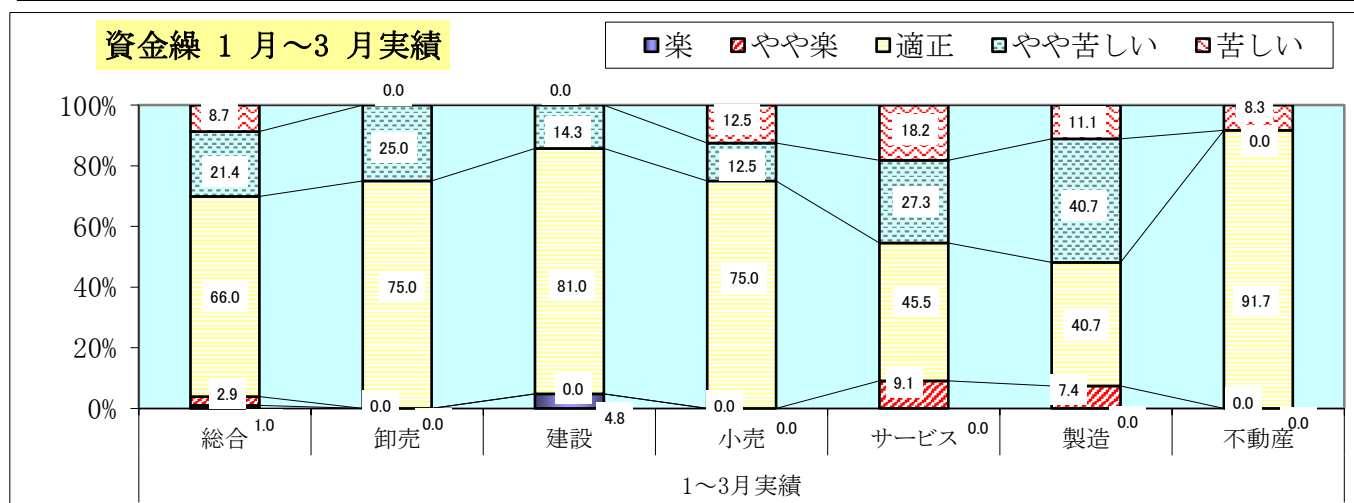
在庫		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-9.6	
1~3月予想							-11.8	
1~3月実績	総合	0.0	8.7	80.4	10.9	0.0	-2.2	-1.1
	卸売	0.0	12.5	87.5	0.0	0.0	12.5	0.0
	建設	0.0	4.8	95.2	0.0	0.0	4.8	4.8
	小売	0.0	16.7	75.0	8.3	0.0	8.4	12.5
	製造	0.0	7.4	74.1	18.5	0.0	-11.1	-14.8
	不動産	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	-8.4



- 前期に比べて在庫（サービス業を除く）が「過剰」「やや過剰」とした企業が8.7%、「やや不足」「不足」とした企業が10.9%で、今期D. I. は△2.2となりました。
- 今期の在庫D. I. は、前期実績D. I. △9.6より7.4ポイントの良化となり、前期調査における今期予想D. I. △11.8に対しても9.6ポイントの良化となりました。  
業種別の今期D. I. は、製造業と不動産を除く全ての業種で在庫過剰を示しました。
- 4~6月予想D. I. は△1.1で、今期実績より1.1ポイントの良化予想となりました。

## (7) 資金繰りの動き

資金繰り		楽	やや楽	適正	やや苦しい	苦しい	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-24.0	
1~3月予想							-24.1	
1~3月実績	総合	1.0	2.9	66.0	21.4	8.7	-26.2	-19.4
	卸売	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	-12.5
	建設	4.8	0.0	81.0	14.3	0.0	-9.5	0.0
	小売	0.0	0.0	75.0	12.5	12.5	-25.0	-20.8
	サービス	0.0	9.1	45.5	27.3	18.2	-36.4	-45.5
	製造	0.0	7.4	40.7	40.7	11.1	-44.4	-37.0
	不動産	0.0	0.0	91.7	0.0	8.3	-8.3	8.3

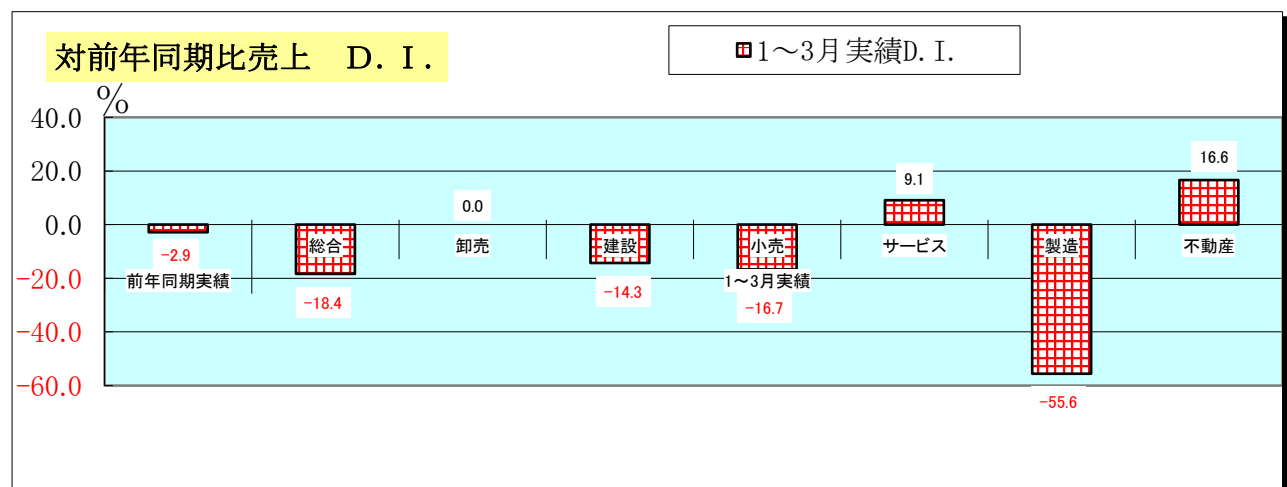
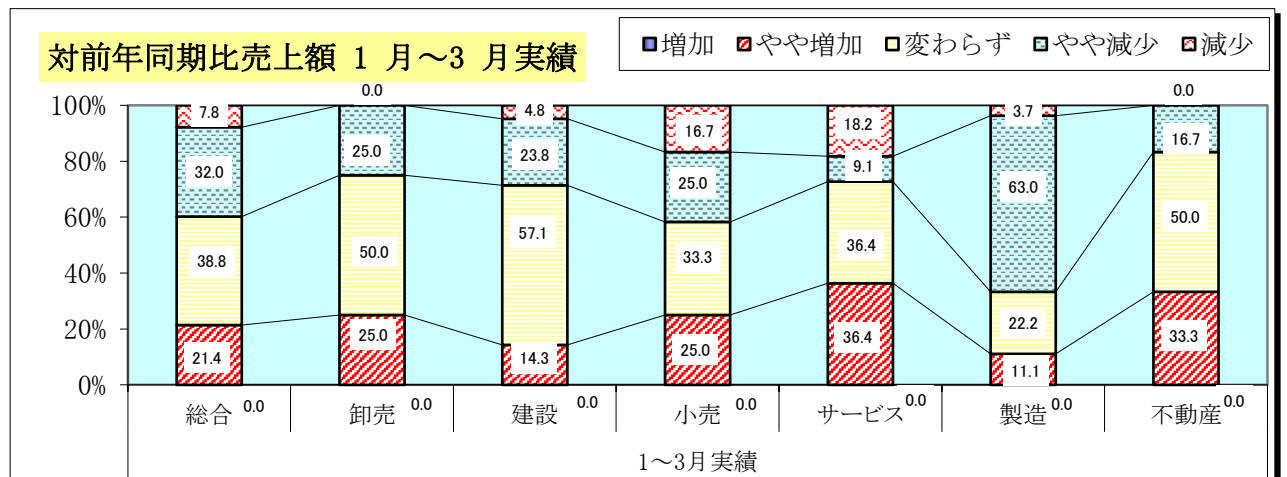


- 前期に比べて資金繰りが「楽」「やや楽」とした企業は3.9%、「やや苦しい」「苦しい」とした企業は30.1%となり、今期D. I. は△26.2となりました。
- 今期の資金繰りD. I. △26.2は、前期実績D. I. △24.0から2.2ポイント悪化。前期調査における今期予想D. I. △24.1に対して2.1ポイント悪化となりました。  
業種別の今期D. I. は、全ての業種で資金繰りの苦しい状況が窺えます。
- 4~6月予想D. I. は△19.4で、今期実績より6.8ポイント良化予想となりました。

### 3. 対前年同期に比べた動き

#### (1) 売上

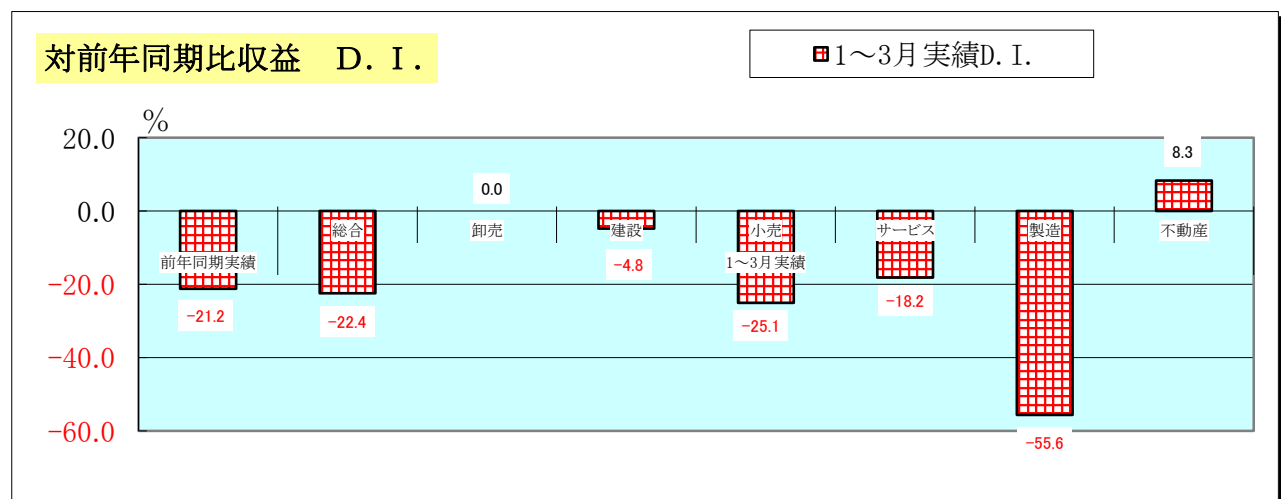
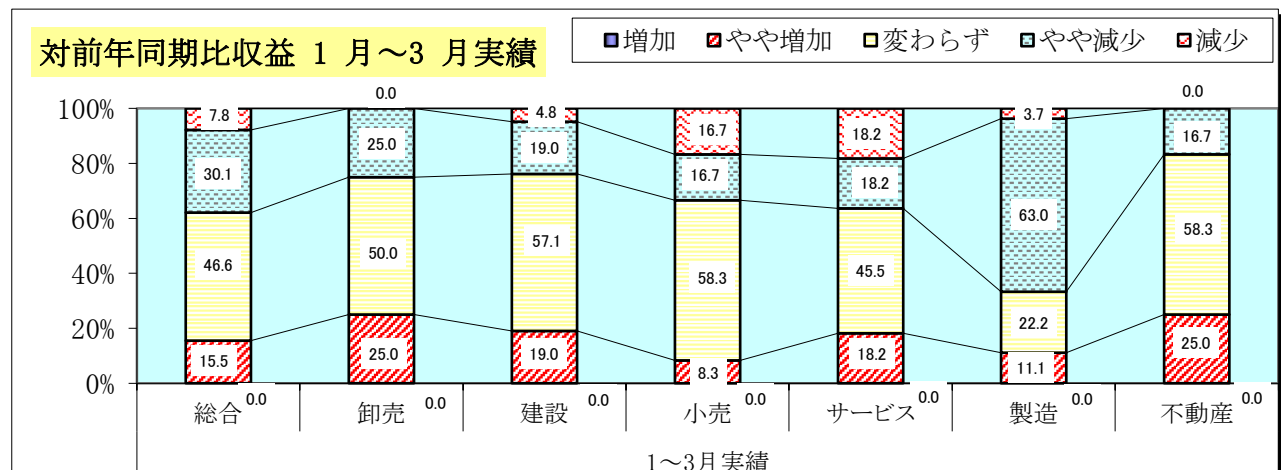
対前年同期比売上		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D. I.
前年同期実績							-2.9
1～3月実績	総合	0.0	21.4	38.8	32.0	7.8	-18.4
	卸売	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	建設	0.0	14.3	57.1	23.8	4.8	-14.3
	小売	0.0	25.0	33.3	25.0	16.7	-16.7
	サービス	0.0	36.4	36.4	9.1	18.2	9.1
	製造	0.0	11.1	22.2	63.0	3.7	-55.6
	不動産	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0	16.6



- 前年同期と比べた売上実績については、「増加」「やや増加」とした企業は21.4%、「やや減少」「減少」とした企業は39.8%で、今期D. I.は△18.4となりました。
- 今期D. I.は、前年同期実績D. I. △2.9より15.5ポイント減少となりました。
- 業種別の今期D. I.は、製造業で大きく減少、建設業、小売業でも減少を示しました。

## (2) 収益

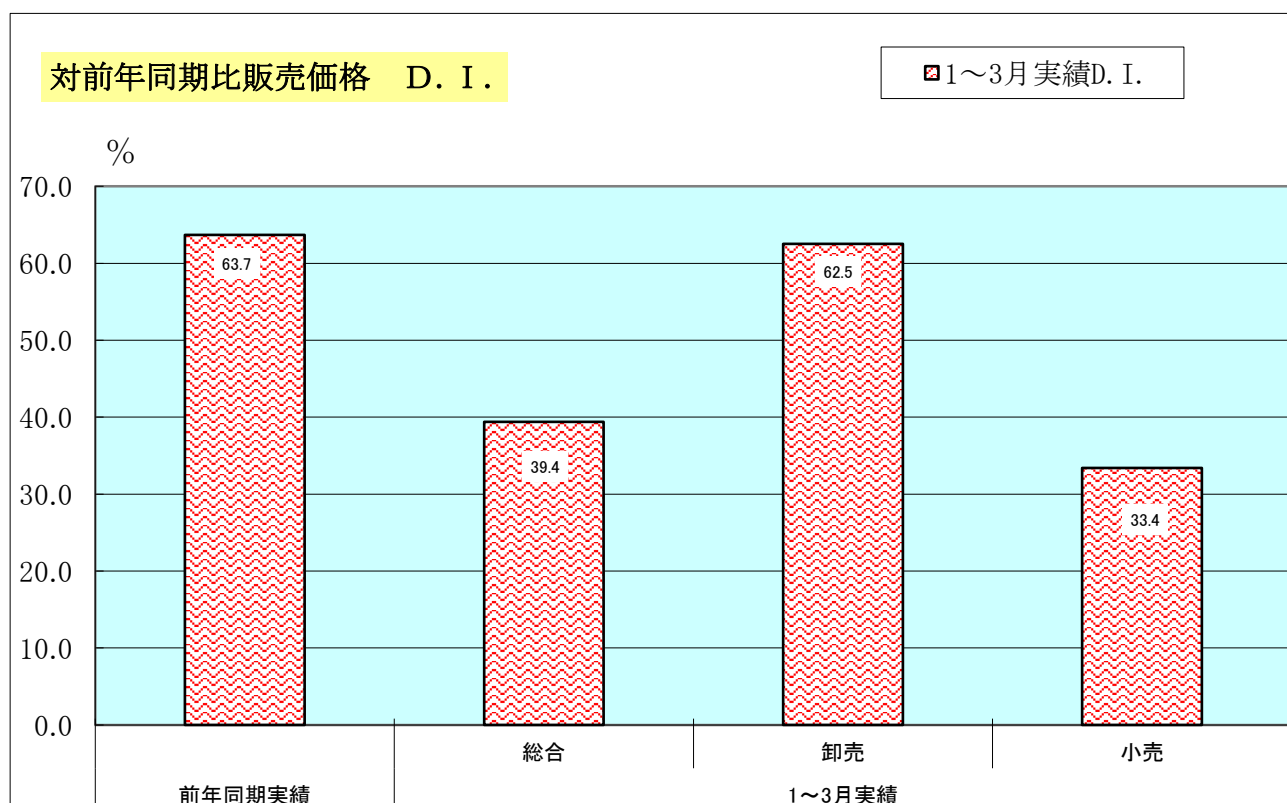
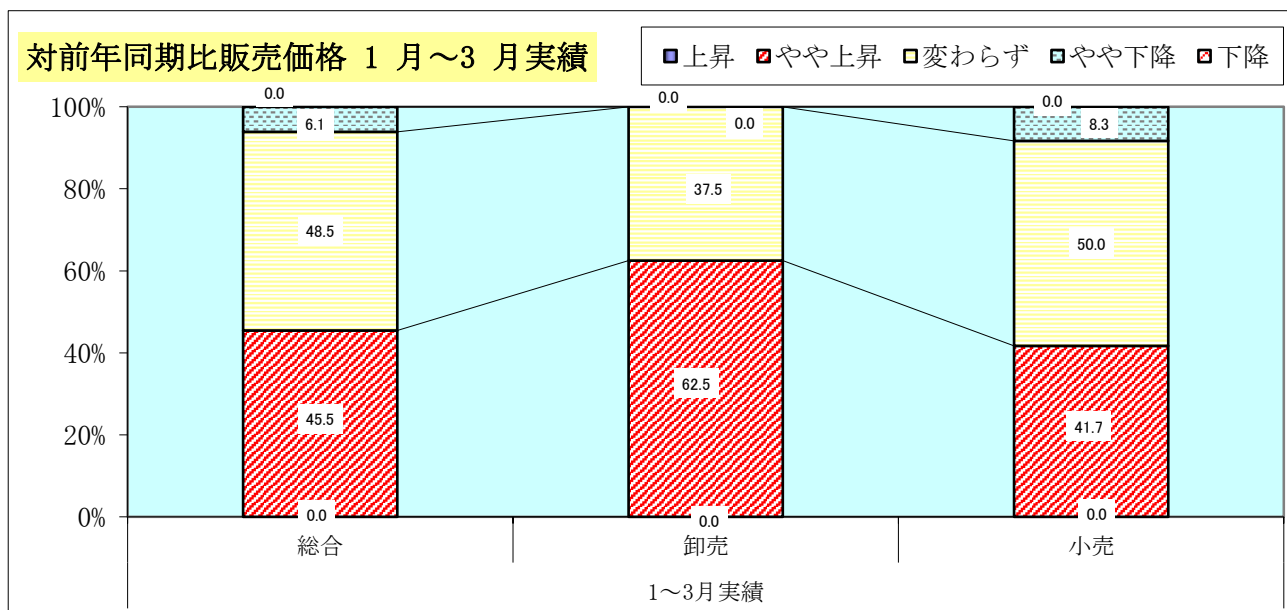
対前年同期比収益		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1～3月実績D. I.
前年同期実績							-21.2
1～3月実績	総合	0.0	15.5	46.6	30.1	7.8	-22.4
	卸売	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	建設	0.0	19.0	57.1	19.0	4.8	-4.8
	小売	0.0	8.3	58.3	16.7	16.7	-25.1
	サービス	0.0	18.2	45.5	18.2	18.2	-18.2
	製造	0.0	11.1	22.2	63.0	3.7	-55.6
	不動産	0.0	25.0	58.3	16.7	0.0	8.3



- 前年同期と比べた収益については、「増加」「やや増加」とした企業は15.5%、「やや減少」「減少」とした企業は37.9%で、今期D. I. は△22.4となりました。
- 今期D. I. は、前年同期実績D. I. △21.2に対し、1.2ポイント減少となりました。
- 業種別の今期D. I. は、卸売業と不動産業を除く全ての業種で減少となりました。

### (3) 販売価格

対前年同期比販売価格		上昇	やや上昇	変わらず	やや下降	下降	1～3月実績D. I.
前年同期実績							63.7
1～3月実績	総合	0.0	45.5	48.5	6.1	0.0	39.4
	卸売	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0	62.5
	小売	0.0	41.7	50.0	8.3	0.0	33.4

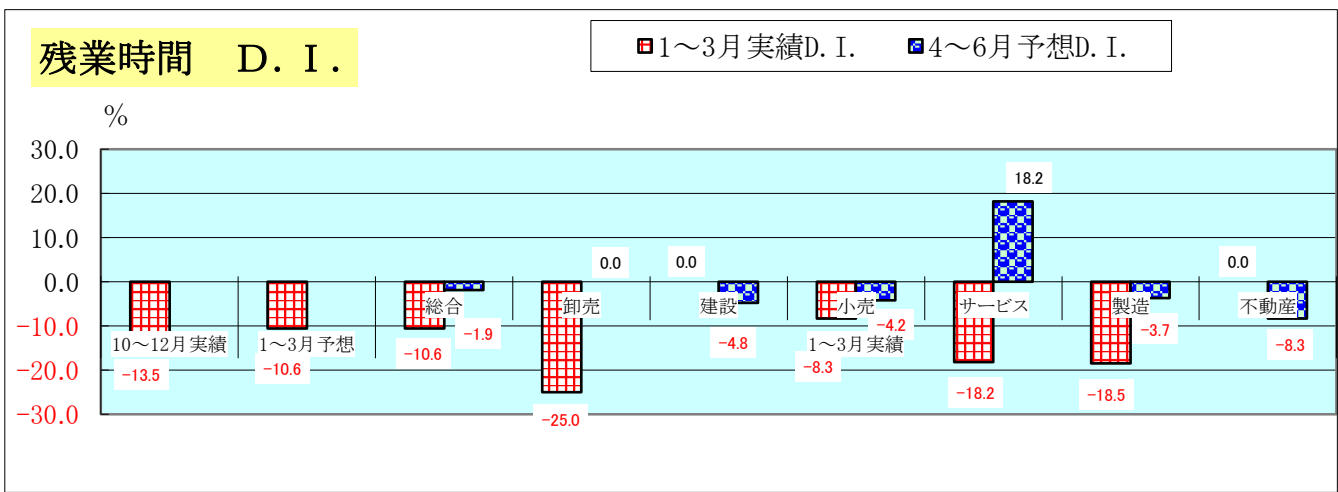
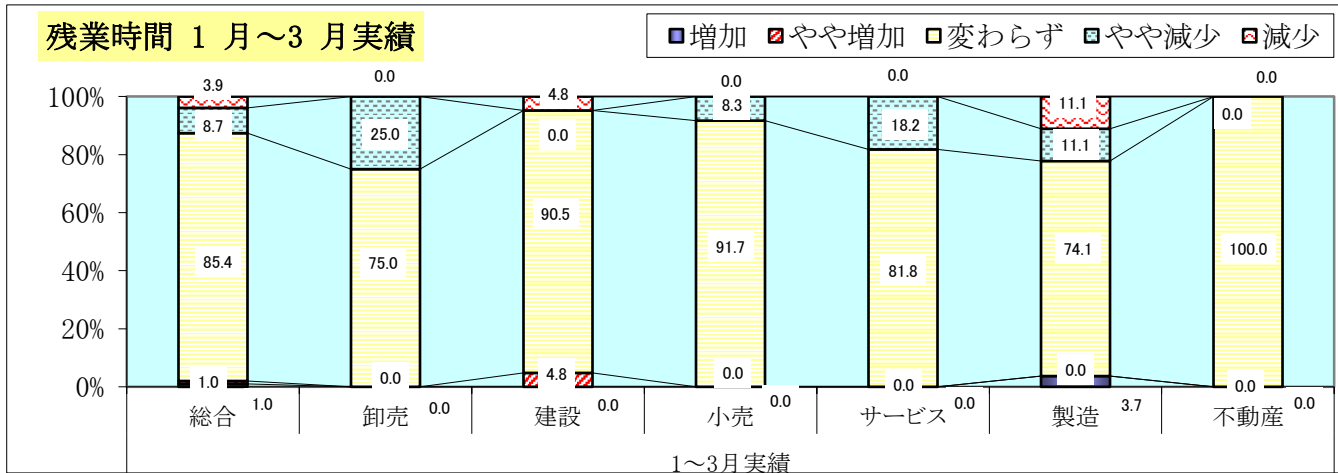


- 前年同期と比べた販売価格（卸売・小売のみ）については「上昇」「やや上昇」とした企業は45.5%、「やや下降」「下降」とした企業は6.1%となり、今期D. I.は39.4となりました。
- 今期D. I.は、前年同期実績D. I. 63.7に対し24.3ポイント下降しました。
- 業種別の今期D. I.は、卸売業62.5、小売業33.4の上昇を示しました。

## 4. 雇用面の動き

### (1) 残業時間

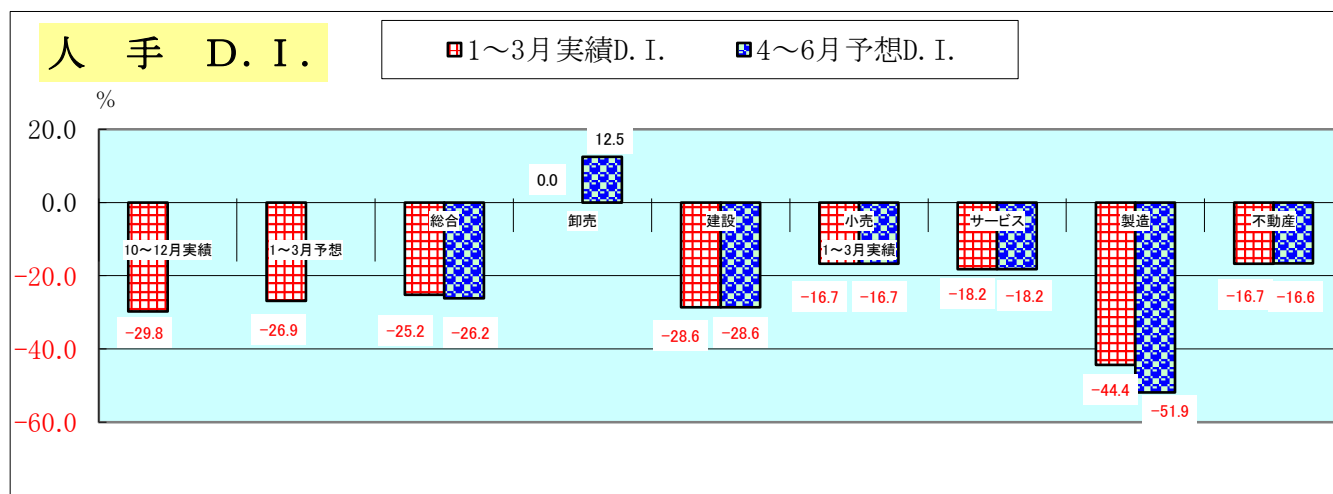
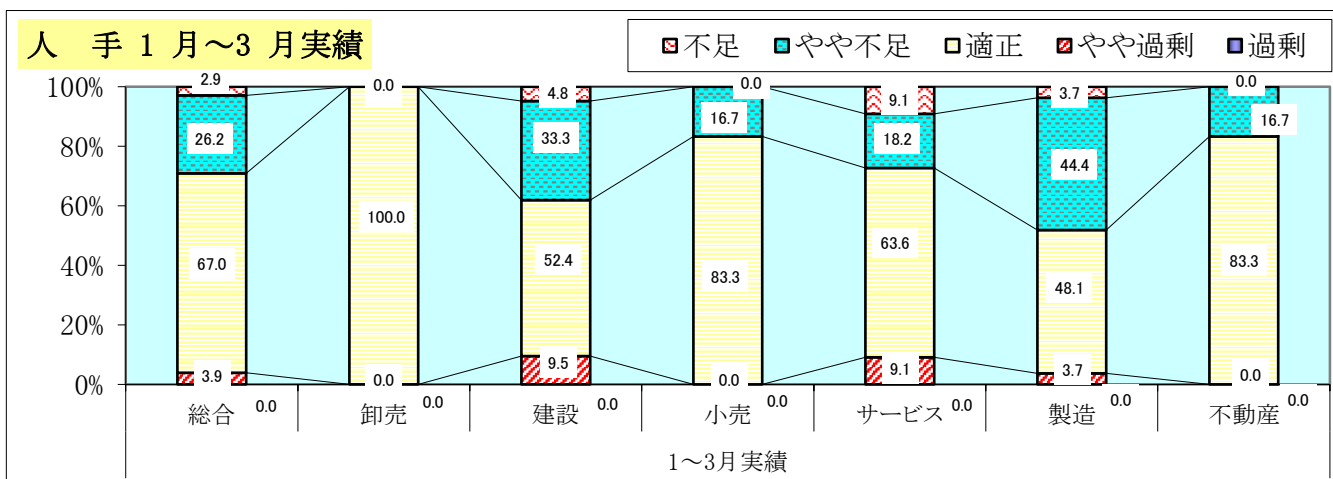
残業時間		増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-13.5	
1~3月予想							-10.6	
1~3月実績	総合	1.0	1.0	85.4	8.7	3.9	-10.6	-1.9
	卸売	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	-25.0	0.0
	建設	0.0	4.8	90.5	0.0	4.8	0.0	-4.8
	小売	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0	-8.3	-4.2
	サービス	0.0	0.0	81.8	18.2	0.0	-18.2	18.2
	製造	3.7	0.0	74.1	11.1	11.1	-18.5	-3.7
	不動産	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	-8.3



- 前期に比べて残業時間が、「増加」「やや増加」とした企業は2.0%、「やや減少」「減少」とした企業は12.6%で、今期D. I. は△10.6となりました。
- 今期D. I. は、前期実績D. I. △13.5に対し2.9ポイント残業時間の増加となりました。前期調査における今期予想D. I. △10.6に対しては同数となりました。業種別の今期D. I. は、建設業と不動産業を除く全ての業種について減少を示しました。
- 4~6月予想D. I. は△1.9で、今期実績より8.7ポイント残業時間の増加予想となりました。

## (2) 人手

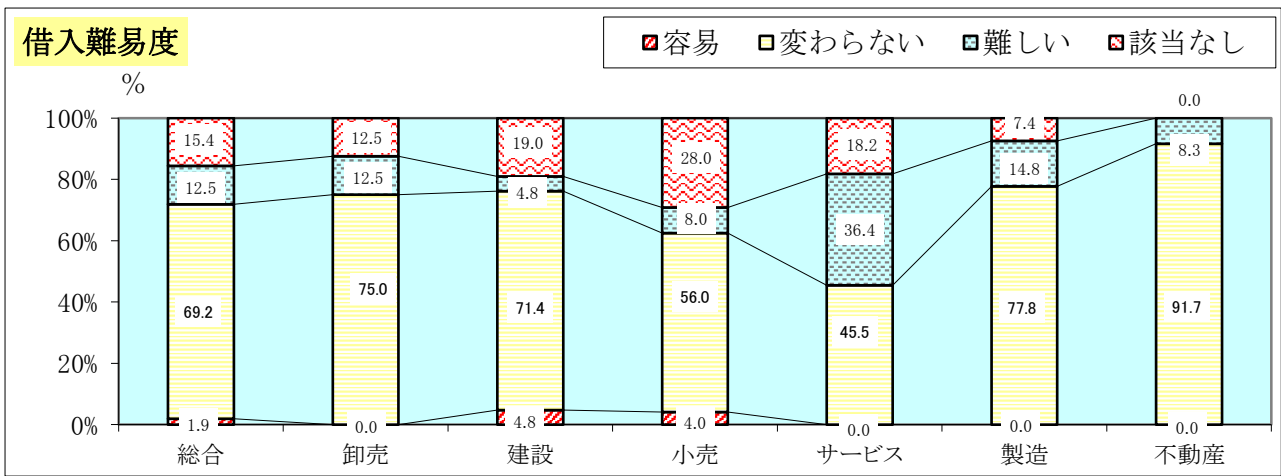
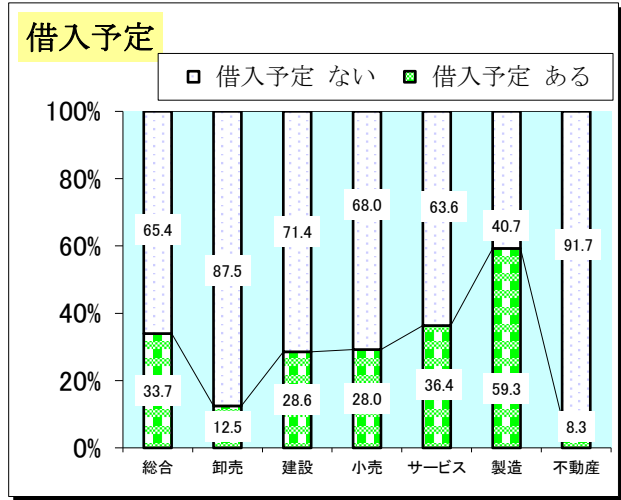
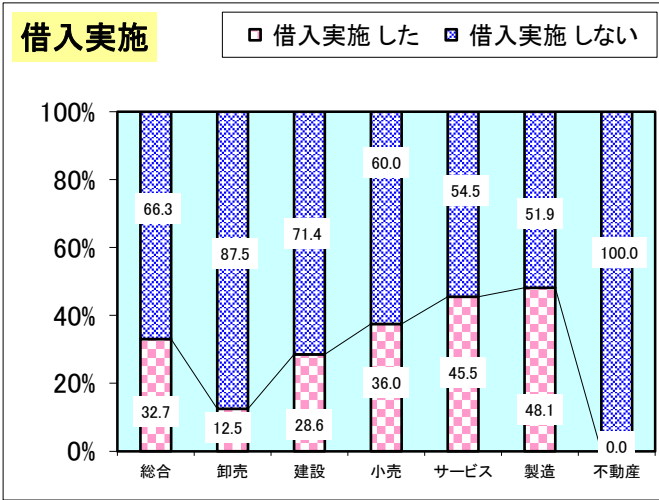
人 手		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1~3月実績D. I.	4~6月予想D. I.
10~12月実績							-29.8	
1~3月予想							-26.9	
1~3月実績	総合	0.0	3.9	67.0	26.2	2.9	-25.2	-26.2
	卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	建設	0.0	9.5	52.4	33.3	4.8	-28.6	-28.6
	小売	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	-16.7	-16.7
	サービス	0.0	9.1	63.6	18.2	9.1	-18.2	-18.2
	製造	0.0	3.7	48.1	44.4	3.7	-44.4	-51.9
	不動産	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	-16.7	-16.6



- 今期の人手過不足については、「過剰」「やや過剰」とした企業は3.9%、「やや不足」「不足」とした企業は29.1%で、今期D.I.は△25.2となりました。
- 今期D.I.は前期実績D.I.から4.6ポイント人手不足の緩和、前期調査における今期予想D.I.に対しても、1.7ポイント人手不足の緩和を示しました。  
業種別の今期D.I.は、卸売業を除く全ての業種で人手不足を示しております。
- 4~6月予想D.I.は△26.2で、今期実績より1.0ポイント人手不足の予想となりました。

## 5. 借入金の動き

借入の実施	借入実施		借入予定		借入難易度			
	した	しない	ある	ない	容易	変わらない	難しい	該当なし
総合	32.7	66.3	33.7	65.4	1.9	69.2	12.5	15.4
卸売	12.5	87.5	12.5	87.5	0.0	75.0	12.5	12.5
建設	28.6	71.4	28.6	71.4	4.8	71.4	4.8	19.0
小売	36.0	60.0	28.0	68.0	4.0	56.0	8.0	28.0
サービス	45.5	54.5	36.4	63.6	0.0	45.5	36.4	18.2
製造	48.1	51.9	59.3	40.7	0.0	77.8	14.8	7.4
不動産	0.0	100.0	8.3	91.7	0.0	91.7	8.3	0.0

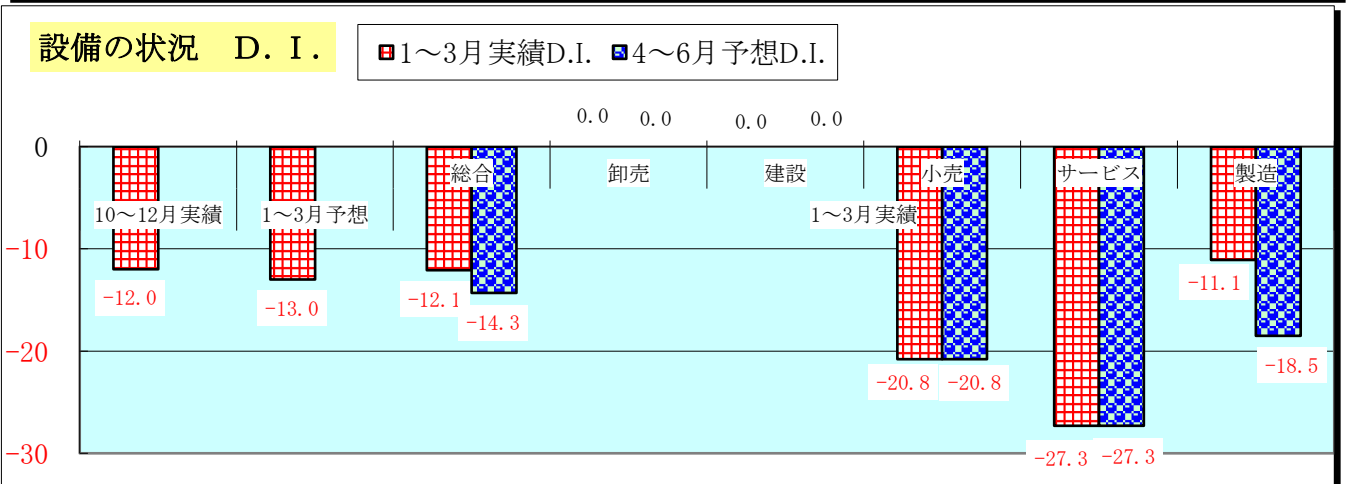
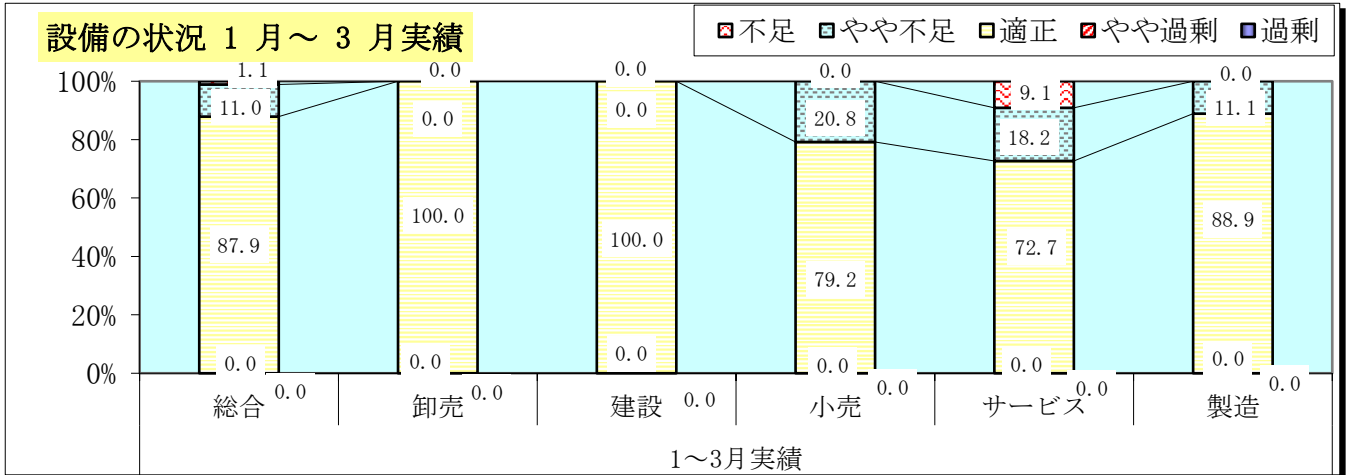


- 今期中に借入を「実施した」企業は全体で32.7%（前期31.7%）となりました。業種別では、小売業36.0%、サービス業45.5%、製造業48.1%、等となりました。
- 今後の借入予定では、全体で33.7%の企業が「予定あり」と回答しています。業種別では、サービス業36.4%、製造業59.3%、等となりました。
- 民間金融機関からの借入難易度については、「変わらない」と回答した企業が全体で69.2%（前期68.3%）、「容易」1.9%（前期4.8%）、「難しい」12.5%（前期14.4%）となりました。

## 6. 設備投資の動き

### (1) 設備状況

設備の動き		過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	1~3月実績D.I.	4~6月予想D.I.
10~12月実績							-12.0	
1~3月予想							-13.0	
1~3月実績	総合	0.0	0.0	87.9	11.0	1.1	-12.1	-14.3
	卸売	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小売	0.0	0.0	79.2	20.8	0.0	-20.8	-20.8
	サービス	0.0	0.0	72.7	18.2	9.1	-27.3	-27.3
製造	0.0	0.0	88.9	11.1	0.0	-11.1	-18.5	



- 今期の設備状況(不動産を除く)について、「過剰」「やや過剰」とした企業はなく、「やや不足」「不足」とした企業は12.1%で、今期D.I.は△12.1となりました。
- 今期D.I.は、前期実績D.I. △12.0に対して0.1ポイント不足感が強まりました。一方で、前期調査における今期予想D.I. △13.0に対しては0.9ポイント不足感が弱まりました。
- 業種別の今期D.I.は、卸売業、建設業を除き全ての業種で不足を示しています。
- 4~6月予想D.I.は△14.3で、今期実績より2.2ポイント不足感が強まる予想となりました。

## (2) 設備投資の実施と予定状況

(複数回答)

設備投資の実施内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
1～3月(件数) 総合	0	4	5	5	8	0	73
卸売	0	0	0	1	1	0	7
建設	0	3	3	1	6	0	10
小売	0	-	-	1	0	0	23
サービス	0	1	1	0	0	0	10
製造	0	0	1	2	1	0	23

設備投資の予定内容	土地建物	機械新增設	機械更改	事務機器	車両	その他	実施しない
4～6月(件数) 総合	0	8	3	1	6	0	77
卸売	0	1	0	0	0	0	7
建設	0	3	2	1	5	0	13
小売	0	-	-	0	0	0	24
サービス	0	1	0	0	1	0	9
製造	0	3	1	0	0	0	24

- 設備投資の実施状況は、「実施した」件数が延べ22件で前期調査時を2件下回りました。  
業種別では、建設業が13件、製造業が4件、卸売業・サービス業が共に2件、小売業1件となりました。
- 来期の設備投資予定は、「予定あり」と回答した件数は延べ18件となりました。  
業種別では、建設11件、製造業4件、サービス業2件、卸売業1件となりました。  
設備投資の予定内容は、「車両」が6件、「機械更改」が3件、「機械新增設」が8件、「事務機器」が1件となりました。

経営上の問題点（項目別構成比「集計」）  
（業種別度数）

（複数回答）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
売上の停滞・減少	2	3	6	7	13	12	4	5	16	15	4	4	45	46	17.2	17.4
同業者間の競争激化	0	0	2	2	5	3	2	2	0	0	2	2	11	9	4.2	3.4
利幅の縮小	1	2	10	10	8	8	3	2	9	10	3	3	34	35	13.0	13.3
人件費の増加	3	4	3	7	5	6	4	6	4	1	2	3	21	27	8.0	10.2
工場・機械（店舗設備）の狭小・老朽化	0	0	0	0	1	0	3	2	5	6	0	0	9	8	3.4	3.0
人件費以外の経費の増加	1	0	0	0	1	0	2	1	3	2	1	2	8	5	3.1	1.9
大手企業（大型店）との競争激化	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0	4	1	8	4	3.1	1.5
合理化の不足	0	0	0	2	0	0	0	0	1	4	0	0	1	6	0.4	2.3
天候の不順	0	1	1	0	4	3	1	3	0	1	0	0	6	8	2.3	3.0
代金回収の悪化	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	3	0.4	1.1
原材料高・材料価格の上昇	0	0	10	10	0	0	3	5	18	16	0	0	31	31	11.9	11.7
地場産業の衰退	0	0	2	1	2	3	0	1	0	1	0	0	4	6	1.5	2.3
集客力の低下	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0.8	0.4
駐車場・資材確保難	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.0	0.4
為替レートの変動	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3	3	1.1	1.1
販売商品の不足・商品物件の不足	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4	3	6	5	2.3	1.9
販売納入先からの値下げ要請	1	1	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4	2	1.5	0.8
人手不足	1	2	9	9	4	2	4	2	4	5	2	2	24	22	9.2	8.3
商圏人口の減少	0	0	0	0	10	11	1	1	0	0	0	0	11	12	4.2	4.5
取引先の減少	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4	4	1.5	1.5
生産能力の不足・技術力の不足	0	0	3	2	0	0	0	0	2	4	0	0	5	6	1.9	2.3
輸入製品（商品）との競争激化	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	2	0.4	0.8
問題なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0.4	0.4
地価の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.4	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
流通経路競争の激化	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
大手企業・工場の縮小・撤退	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
親企業による選別の強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
小口注文・多頻度配送の激化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
商品物件の高騰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	0.8	0.8
取扱商品（業務）の陳腐化	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.4	0.4
仕入先からの値上り要請	2	2	0	0	5	3	0	0	2	2	0	0	9	7	3.4	2.7
下請けの確保難	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	2.3	2.3
合計	17	21	54	56	66	59	28	32	71	73	25	23	261	264	100.0	100.0

○ 各企業が経営上の問題点として挙げている項目を見ていくと

第1位～ 「売上の停滞・減少」 46件  
 第2位～ 「利幅の縮小」 35件  
 第3位～ 「原材料高・材料価格の上昇」 31件

\*前期\*

第1位～ 「売上の停滞・減少」 45件  
 第2位～ 「利幅の縮小」 34件  
 第3位～ 「原材料高・材料価格の上昇」 31件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第1位	第2位	第3位
卸売業	人件費の増加 4	売上の停滞・減少 3	利幅の縮小、為替レートの変動、その他2項目 2
建設業	利幅の縮小、原材料高・材料価格の上昇、 10	人手不足 9	売上の停滞・減少 7
小売業	売上の停滞・減少 12	商圏人口の減少 11	利幅の縮小 8
サービス業	人件費の増加 6	売上の停滞・減少、原材料高・材料価格の上昇 5	天候の不順 3
製造業	原材料高・材料価格の上昇 16	売上の停滞・減少 15	利幅の縮小 10
不動産業	売上の停滞・減少 4	利幅の縮小、人件費の増加、販売商品の不足・商品物件の不足 3	同業者間の競争激化、人手不足、その他2項目 2

当面の重点経営施策（項目別構成比「集計」）（複数回答）  
（業種別度数）

集計項目	卸売		建設		小売		サービス		製造		不動産		度数合計		構成比	
	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期	前期	今期
経費を節減する	5	6	7	13	12	14	6	7	20	13	7	5	57	58	23.4	23.7
販路を広げる	4	7	6	7	0	0	4	3	14	15	3	1	31	33	12.7	13.5
情報力を強化する	1	1	7	8	0	0	0	0	8	6	7	10	23	25	9.4	10.2
人材を確保する	2	1	15	14	3	3	5	5	10	11	2	1	37	35	15.2	14.3
技術力を強化（高める）	0	0	7	3	0	0	1	1	0	0	0	0	8	4	3.3	1.6
流通経路の見直しをする	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	0	0	5	6	2.0	2.4
機械化を推進する	0	0	0	0	1	1	2	0	1	2	0	0	4	3	1.6	1.2
パート化を図る	0	0	1	1	0	1	2	2	1	2	1	1	5	7	2.0	2.9
新商品・技術の開発・新しい工法の導入	2	0	1	3	0	0	2	2	0	1	0	0	5	6	2.0	2.4
宣伝・広告を強化する	0	0	0	0	0	0	1	1	3	5	1	1	5	7	2.0	2.9
品揃えを充実（改善）する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	4	0.4	1.6
新しい事業を始める	0	0	0	0	4	3	4	5	0	0	1	2	9	10	3.7	4.1
仕入先を開拓・選別する	0	0	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	4	5	1.6	2.0
その他	1	0	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	5	1	2.0	0.4
売れ筋商品を取扱う	0	0	0	0	9	5	0	0	0	0	0	0	9	5	3.7	2.0
特になし	0	0	3	2	2	1	0	0	1	1	0	0	6	4	2.5	1.6
店舗・設備を改装する	0	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0	0	1	4	0.4	1.6
工場・機械を増設・移転する	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0.4	0.4
不動産の有効活動を図る	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	1	2	3	5	1.2	2.0
輸入品の取扱を増やす	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
取引先を支援する	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	3	2	1.2	0.8
商店街事業を活性化させる	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4	4	1.6	1.6
営業時間を延長する	2	1	0	0	8	8	0	0	0	0	0	0	10	9	4.1	3.7
提携先を見つける	0	1	1	1	2	2	1	1	0	0	3	1	7	6	2.9	2.4
不採算部門を整理・縮小する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
労働条件を改善する	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.4	0.0
教育訓練を強化する	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.0	0.4
合計	18	17	49	54	52	51	29	29	70	69	26	25	244	245	100.0	100.0

○ 経営上の問題克服のために、企業経営者が講じている重点経営施策としては

第1位～ 「経費を節減する」 58件  
第2位～ 「人材を確保する」 35件  
第3位～ 「販路を広げる」 33件

\*前期\*

第1位～ 「経費を節減する」 57件  
第2位～ 「人材を確保する」 37件  
第3位～ 「販路を広げる」 31件

○ 業種別の上位項目をみると下記の通りとなっています。

単位：件

	第1位		第2位		第3位	
卸売業	販路を広げる	7	経費を節減する	6	情報力を強化する、人材を確保する、その他2項目	1
建設業	人材を確保する	14	経費を節減する	13	情報力を強化する	8
小売業	経費を節減する	14	営業時間を延長する	8	仕入先を開拓・選別する、売れ筋商品を扱う	5
サービス業	経費を節減する	7	人材を確保確保する、新しい事業を始める	5	販路を広げる	3
製造業	販路を広げる	15	経費を節減する	13	人材を確保する	11
不動産業	情報力を強化する	10	経費を節減する	5	新しい事業を始める、不動産の有効活動を図る	2

## 特別調査

### 中小企業経営者のライフデザイン

問 1 社長（代表者）は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますか。1～5の中からお答えください。併せて、現在の社長（代表者）の年齢階層を下記の6～0の中から1つ選んでお答えください。

	10年先の自社の経営展望					社長（代表者）の年齢階層				
	1. 事業拡大	2. 現状維持・横ばい	3. 事業縮小	4. 廃業・事業譲渡予定	5. わからない	6. 20歳代、30歳代	7. 40歳代	8. 50歳代	9. 60歳代	0. 70歳代以上
合計（構成比）	12.6%	55.3%	6.8%	5.8%	19.4%	6.8%	9.7%	25.2%	18.4%	39.8%
総合	13	57	7	6	20	7	10	26	19	41
卸売	2	3	0	0	3	0	0	3	2	3
建設	2	11	2	2	4	1	3	6	1	10
小売	2	14	2	2	4	1	1	6	6	10
サービス	3	6	0	0	2	1	2	2	6	0
製造	4	15	3	0	5	4	3	6	2	12
不動産	0	8	0	2	2	0	1	3	2	6

上記質問において、前問では2.「現状維持・横ばい」が57先と一番多く、次いで5.「わからない」が20先の回答となり、後問では0.「70歳代以上」が41先と一番多く、次いで8.「50歳代」が26先の回答となりました。

問 2 社長（代表者）は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。具体的な年齢の目途がある方は1～6の中から、そうでない方は7～0の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

	具体的な年齢の目途がある						具体的な年齢の目途はない			
	1. 60歳未満	2. 60～64歳	3. 65～69歳	4. 70～74歳	5. 75～79歳	6. 80歳以上	7. 健康が続く限り生涯現役	8. 後継者に託せるようになるまでは現役	9. 生活資金の見通しがつくまで現役	0. まったく考えていない
合計（構成比）	1.9%	4.9%	3.9%	12.6%	9.7%	2.9%	28.2%	26.2%	0.0%	9.7%
総合	2	5	4	13	10	3	29	27	0	10
卸売	0	0	0	1	1	1	2	2	0	1
建設	0	1	0	6	2	0	4	7	0	1
小売	0	1	1	2	3	1	11	2	0	3
サービス	1	0	0	2	0	0	5	2	0	1
製造	0	2	2	2	2	1	5	10	0	3
不動産	1	1	1	0	2	0	2	4	0	1

上記質問において、7.「健康が続く限り生涯現役」が29先と一番多く、次いで8.「後継者に託せるようになるまでは現役」が27先の回答となりました。

問 3 社長（代表者）は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

	十分だと思う				まだ不十分だと思う					
	1. 貯蓄・資産がすでに十分にある	2. 会社からの退職金が見込める	3. 年金・保険が見込める	4. 何とかなる	5. 貯蓄・資産が十分ではない	6. 会社からの退職金が見込めない	7. 年金・保険が見込めない	8. 何となく不安である	9. まだ考えていない	0. 引退しない
合計（構成比）	19.4%	4.9%	5.8%	16.5%	8.7%	1.9%	2.9%	11.7%	24.3%	3.9%
総合	20	5	6	17	9	2	3	12	25	4
卸売	1	0	3	2	0	1	0	0	1	0
建設	5	4	0	5	1	0	0	0	6	0
小売	2	0	1	2	7	0	1	4	5	2
サービス	1	0	0	2	0	0	1	4	2	1
製造	4	1	2	4	1	1	1	3	9	1
不動産	7	0	0	2	0	0	0	1	2	0

上記質問において、9.「まだ考えていない」が25先と一番多く、次いで1.「貯蓄・資産がすでに十分にある」が20先、続いて4.「何とかなる」が17先の回答となりました。

**問 4** 社長（代表者）は、個人としてどのような資産管理・運用をしていらっしゃいますか。下記の1～0の中から主なものについて3つ以内で選んでお答えください。

	1. 預貯金（円貨）	2. 外貨預金	3. 債権（国債・社債等）	4. 投資信託	5. 株式	6. 不動産	7. 個人年金保険	8. 共済等その他保険商品	9. 仮想通貨	0. 何もしていない
合計（構成比）	31.9%	0.6%	3.1%	11.7%	8.6%	13.5%	8.6%	4.3%	0.0%	17.8%
総合	52	1	5	19	14	22	14	7	0	29
卸売	3	0	0	2	1	2	1	0	0	2
建設	12	1	1	4	2	5	2	2	0	4
小売	11	0	2	5	6	3	2	2	0	7
サービス	5	0	0	1	2	4	2	0	0	4
製造	16	0	2	5	2	0	5	3	0	10
不動産	5	0	0	2	1	8	2	0	0	2

上記質問において、1.「預貯金(円貨)」が52先と一番多い回答となり、次いで0.「何もしていない」が29先、6.「不動産」22先、4.「投資信託」19先の回答となりました。

**問 5 特別設問** 貴社では、人材定着などに向けて、2026年中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の引上げを実施（実施予定を含む）しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について1から4の中から1つ選んでお答えください。また、引上げない場合はその理由について5から0の中から1つ選んでお答えください。

	引上げ				引上げない					
	1. 0%以上2%未満	2. 2%以上4%未満	3. 4%以上6%未満	4. 6%以上	5. 賃上げに見合う価格転嫁ができていない	6. 同業や同地域内の他社が上げていない	7. 今後の業績見通しが不透明	8. 売上の低迷や伸び悩み	9. これまでに賃金を引上げ済み	0. 自社に従業員はいない（家族経営など）
合計（構成比）	14.6%	22.3%	8.7%	0.0%	4.9%	2.9%	15.5%	7.8%	13.6%	9.7%
総合	15	23	9	0	5	3	16	8	14	10
卸売	2	1	1	0	0	0	1	0	3	0
建設	6	6	1	0	1	0	5	1	1	0
小売	3	5	2	0	1	0	2	3	1	7
サービス	1	3	0	0	0	0	2	2	3	0
製造	3	5	2	0	3	2	5	2	4	1
不動産	0	3	3	0	0	1	1	0	2	2

上記質問において、2.「2%以上4%未満」が23先と一番多く、次いで7.「今後の業績見通しが不透明」が16先、1.「0%以上2%未満」が15先、9.「これまでに賃金を引上げ済み」14先の回答となりました。